

サシバ（猛禽類）の渡りの季節です！！
～二ツ塚処分場で、サシバの撮影に初めて成功～

東京たま広域資源循環組合が管理し、現在、不燃物の埋立てを行っている二ツ塚廃棄物広域処分場内（東京都日の出町）において、絶滅が危惧される猛禽類「サシバ」の姿を初めて撮影に成功しましたので、お知らせいたします。

二ツ塚処分場は一般廃棄物の最終処分場ではありますが、周辺環境に影響を与えることなく、場内には様々な動植物が生育・生息できる環境にあります。このため、絶滅の危機に瀕するサシバが場内を渡りの途中の採餌場として利用したと考えられ、同処分場がサシバの保護にとって重要な役割を担っていることが伺われます。

サシバは、カラスほどの大きさの鳥で、オオタカなどと同様、猛禽類に分類され、夏鳥として渡来する「渡り鳥」です。かつて、サシバは、農村部ではごく普通の夏鳥でしたが、近年、土地の開発に伴っての繁殖域が狭まっているといわれています。こうした中、絶滅の危機が高まっており、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類、東京都レッドリストでは絶滅危惧ⅠA類として登録されています。

今後とも、当組合では、周辺環境に影響を与えることなく、引き続き安全で安心な管理運営に努めてまいります。

※ ニツ塚処分場は埋立作業を実施しているため、一般の方は場内に入ることができません。



ガス抜き管からエサにめがけて飛び立つサシバ



場内に設置された巣箱の上で休息するサシバ

当組合が管理する埋立てが終了した谷戸沢処分場内では、現在、フクロウのヒナが順調に育っているところ。なお、フクロウの様子については、こちらのバナーをクリックください。





西日を浴びて飛翔するサシバ



監視用カメラの上部からエサを探すサシバ



照明灯からの飛翔



ガス抜き管からの飛翔



二ツ塚処分場とエコセメント化施設の全景